



宇久中だより2017

佐世保市立宇久中学校 学校通信
(平成29年12月2号)
文責 校長 田雑 健
平成29年12月8日(金)発行

学校教育目標 : ふるさとを愛し、主体的に学習し、自らの判断で正しく行動できる生徒
めざす生徒像 : 素直で心豊かな生徒 ・ 自ら考え、主体的に学ぶ生徒 ・ 強くたくましい生徒
宇久中生徒の5励行 : 心のこもったあいさつをする 授業に集中する 生徒会活動や部活動に励む
大きな声で校歌を歌う 清掃活動に力を入れる

人権週間です

11月30日(木)の集会を皮切りに、今年度の人権週間の取組が本格化してきました。

以前から、準備を重ねてきたこともあり、集会での趣旨説明など大変わかりやすくまとめられており、良いスタートを切ることができました。

さかのぼって、1948年(昭和23年)12月10日の国際連合第3回総会において、基本的人権を確保するため、『世界人権宣言』が採択され、1950年(昭和25年)に世界人権宣言が採択された日である12月10日が「人権デー」と定められました。

我が国においては、同宣言が採択されたことを記念して、1949年(昭和24年)から毎年12月10日を最終日とする1週間(12月4日から同月10日まで)を、「人権週間」と定めています。

今年度の「第69回人権週間」の啓発活動重点目標は「みんなで築こう 人権の世紀 ～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心～」です。

現在、取り組んでいる活動の意義をもう一度確認して、少しずつでも自分の心の持ちようや実践に生かしていくことができればと思います。



一声かけることで
気持ちのパズルも
うまくいくかも？

生徒会役員改選



人権週間の取組の一方で、こちらも本校にとって大変重要な生徒会役員選挙が行われます。計画に沿って、公示、立候補受付等も進んでいます。

本校生徒全員が会員となり組織されている生徒会です。

この選挙で会長を選ぶというだけでなく、先輩からのバトンを受け継ぐとともに、今までの生徒会活動全体を振り返る大きな節目と捉えてほしいと思います。

インフルエンザに注意

先日、佐世保市保健所から「インフルエンザの流行発生について(注意喚起)」の知らせが入りました。学活などで注意があったと思いますが、お知らせによると、例年よりも早い流行期入りということです。確かに市内数校でインフルエンザ罹患者が増えているという情報もあります。予防接種を受けているといっても油断はできません。

日頃から指導されている「うがい、手洗い、マスク着用」を実践すること。根本的に「早寝、早起き、朝ご飯」の基本的な生活リズムを守り、体力の維持・向上に努めること。

そして何より「自分がかからない」と変な自信をもたないことです。

『語らいの広場』 よい

12月2日（土）、市PTA連合会、市教育委員会の共催で行われた「語らいの広場」に参加してきました。今回のテーマは「アンガーマネジメント」、最近よく耳にするようになった言葉ですが、1970年代にアメリカで始まったアンガー（いらいら、怒りの感情）をマネジメントする（上手に付き合う）ための感情理解教育であるとされています。（日本アンガーマネジメント協会HPより）

今回は市教育委員で、かつ日本アンガーマネジメント協会公認ファシリテーターでもある合田優子さんを講師に「子育てにおけるアンガーマネジ



メント ～怒りのトリセツを学ぼう～」と題してお話をいただきました。ユーモアあふれるお話しぶりで、あっという間に90分が過ぎました。

内容を簡単にご紹介すると、アンガーマネジメントとは「怒らないこと」ではなく、怒る必要のあることは上手に怒り、怒る必要のないことは怒らないようになることであるというところから始まり、怒りの感情とは、怒りについての自己診断、怒りに関する「3つのコントロール」といった身近な例を引きながらの説明で、本当に「あるある」とうなずくようなお話の連続でした。

お知らせ

12月11日（月）は学校開放日です。
よろしければ学校に足を運んでいただき、学習に励む生徒の姿をご参観ください。



ココロねっこ 10
あいさつ・声かけ運動を
推進し、子どもも大人も
顔みしりになりましょう。



言葉を通して、自分の心を開き、相手の心を押し量るものが、あいさつだと言えます

社会生活において、人間関係は避けて通れません。職場や家庭、学校、その他のシーンで関わる人たちと、円満なコミュニケーションを築けるならば、必ずその人の人生は豊かなものになるでしょう。

人間関係の第一歩は、まずお互いの存在を認め合い、言葉を交わすことから始まります。とはいえ、初めて出会う人に自分の思いを伝えることは簡単ではありません。

ところが、「こんにちは」「おはよう」という短い言葉が、自分と相手との距離を一瞬にして縮めてくれます。

そこには、“はじめまして”“お目にかかれてうれしいです”“今日もお元気ですね”などのメッセージがこめられているからです。

わずか数文字の言葉が、コミュニケーションを図るきっかけとなります。たった一言のあいさつで、もう、その関係は前に向かって進んでいきます。

あいさつは、自分の心を開き、相手の心をノックする、魔法のような素敵な言葉なのです。

出典：「ココロねっこ運動」長崎県青少年育成県民会議より

本校でも「宇久中生徒の5励行」の一つに「心のこもった挨拶をする」を掲げ、毎朝挨拶運動を行っています。

いつでも、どこでも、誰にでも気持ちのよいあいさつができるように、今後も取り組んでまいります。